

目 次

わが国の港湾事業	篠原 登美雄	1
掘込み港湾の概要	鈴木 克洋	2
新潟港の災害復旧工事	片山 彬	8
本牧ふ頭建設工事	垣 中 三樹	14
瀬戸内海航路しゅんせつ工事	大越 勝知	20

グラビヤ—名古屋港高潮防波堤建設工事

シンガポール港しゅんせつ工事	川上 敏夫	27
メンクくい打ち機(船)の実績	辰己 寿男	29
J.C.M.A 訪韓視察団報告	伊丹 康夫	35
建設機械化研究所開所 1 カ年を顧みて	三谷 健	38

〔新機種紹介〕

国産 CATERPILLAR (キャタピラー) 951 ローダ	本多 忠彦	44
1,300 m ³ ドラグサクシオンしゅんせつ船「海鱗丸」	石田 実	46

〔建設機械化講座〕 第 33 回 現場フォアマンのための土木と施工法

X. 舗装工法(その 4)		
2. コンクリート舗装工(2)	埴原文 弥	48

橋の話あれこれ	田中正吉	56
---------	------	----

〔文献調査〕

どのようにしてアスファルトプラントによる 空気汚染に関する規準を作ったか	施工部会 文献調査委員会	59
---	-----------------	----

〔建設機械化研究所抄報〕

試験研究報告 (No. 10)	建設機械化研究所	61
-----------------	----------	----

〔支部便り〕

昭和 40 年度北陸支部建設機械展示会	北陸支部	64
建設機械の潤滑管理講習会	東北支部	66
ダムの工事現場見学会	東北支部	66
ニューズ	(編集部)	67
行事一覧・編集後記	(両角・前田)	68
既刊目次一覧		

◇表紙写真説明◇

1,300 m³ ドラグサクシオン浚渫船「海鱗丸」

石川島播磨重工業株式会社

海鱗丸は、運輸省第一港湾建設局の発注により昭和 40 年 3 月、石川島播磨重工業(株)で竣工したドラグサクシオン浚渫船で、現在、新潟港および酒田港付近の航路浚渫に従事している。本船の特長は動力方式で、主機のディーゼル機関に主発動機と推進器駆動用流体継手付減速装置が串形に結合され、浚渫時には推進器を駆動するほか、主発電機から電動の浚渫ポンプへ給電し、航走時には推進器へ動力を供給できる。

また本船よりひとまわり大きい「海鵬丸」と同様、遠隔制御、自動化を大幅にとり入れ、浚渫、推進の操作は船橋において、機関部は機関室に設けられた監視室において集中制御され、推進には可変ピッチプロペラを、また離岸の迅速化および推進時の針路微調整のためバウスラスタが採用されている。

(注：本船の詳細は本誌 46 頁を参照下さい)